

## 令和4年度 麻生養護学校不祥事ゼロプログラム

麻生養護学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的とし、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

### 1 実施体制

- (1) 麻生養護学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長及び教頭、事務長がこれを補佐する。
- (2) 不祥事ゼロプログラム実施にあたって、全校的な取組として活動を活性化するために、総括教諭は校長、副校長、教頭、事務長を補佐し、不祥事防止会議を中核として推進する。
- (3) 各職員は不祥事を自分事としてとらえ、全職員が問題意識を持って不祥事防止ゼロプログラムに取り組む。

### 2 取組課題、目標、行動計画

	取組課題	目標	行動計画
1	法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	教職員としての使命とともに、社会の一員であることを自覚し、公務内外にかかわらず常に、公務員としての自覚を持ち行動する。	不祥事防止会議をとおして、神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針等を活用し、法令順守についての理解を深める。
2	職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員同士が互いの人権を尊重した言動・行動を行い、働きやすい職場環境を作る。	不祥事防止会議をとおして、不祥事防止点検資料を活用し、職員間の協議により、適切な対応について理解を深める。
3	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	児童・生徒の意思と尊厳を守り、指導体制や環境を整え、適切な対応を行う。	不祥事防止会議をとおして、職員間の協議により、適切な対応について理解を深める。 児童・生徒への丁寧で適切な対応のスタンダードを作成する。
4	体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重した支援、指導をチームで行う。	人権研修を実施し、体罰、不適切な指導、体罰に当たらない指導について、理解を深める。 児童・生徒への丁寧で適切な対応のスタンダードを作成する。
5	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜資料、個別教育計画、進路関係書類等の作成・保管・廃棄を適切に行う。	不祥事防止点検資料を活用して、事故防止について理解を深める。管理簿により、各文書の管理状況を確認する。
6	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	不祥事防止点検資料を活用して、事故防止について理解を深める。管理簿により、各文書の管理状況を定期的に確認する。
7	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを継続する。	不祥事防止会議をとおして、不祥事防止点検資料を活用し、事故防止について理解を深める。
8	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	各職員が学校運営に主体的に参画し、働き方改革を推進する。	各職員による業務遂行に当たっての課題と改善策に関する提案を定期的に集約・整理し、改善を図る。
9	財務事務等の適正執行	公費及び私費会計の適正な執行・管理や、備品、消耗品等の適正な管理を行う。	私費会計および施設設備点検について、担当者対象の研修を行う。また、県の規則等に則り計画的に点検を行う。

### 3 ゼロプログラムの検証

- (1) 中間検証 10月に中間検証を実施する。達成状況により必要に応じて対応策を検討する。
- (2) 最終検証 年度末に最終検証を実施する。年間のゼロプログラムの目標達成の状況を検証する。